



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 日亜鋼業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5658 URL <https://www.nichiasteel.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大西 利典
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 沖垣 佳宏 (TEL) 06-6416-1021
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月3日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	16,891	0.5	666	6.3	939	2.5	468	△4.9
2024年3月期中間期	16,807	4.6	627	△11.9	916	△15.9	492	△23.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △36百万円(—%) 2024年3月期中間期 2,068百万円(213.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	9.85	—
2024年3月期中間期	10.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	73,258	54,875	70.0
2024年3月期	73,605	55,337	70.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 51,284百万円 2024年3月期 51,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2025年3月期	—	4.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.8	1,700	27.3	2,200	3.5	1,150	△8.6	24.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	51,755,478株	2024年3月期	51,755,478株
2025年3月期中間期	4,367,494株	2024年3月期	4,017,273株
2025年3月期中間期	47,577,476株	2024年3月期中間期	48,234,016株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、地政学的リスク、中国や欧米の景気動向、為替相場等の複合的な要因が相俟って、先行きの不透明な状況が続きました。

線材加工製品業界においては、普通線材製品でフェンス向けを中心に需要低迷が続きました。特殊線材製品では、完成車メーカーの品質認証問題等の影響を受けた自動車向けに加え、プロジェクト案件が減少した電力通信向けの需要が振るいませんでした。鋳螺線材製品については、中小物件が停滞したものの、大型物件を中心に比較的堅調に推移しました。

一方で、コスト面では、主副原料価格の上昇をはじめ、物流費やエネルギー費、人件費等も増加しました。

このような事業環境の中、当社グループは、これらのコスト上昇に対する販価転嫁をはじめ、鋳螺線材製品の着実な需要捕捉や輸入針金代替需要の獲得、鋼索の拡販等による販売数量確保、さらにコスト低減対策等を積極的に推進しました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は16,891百万円と前年同期に比べ83百万円(0.5%)の増収となりました。

利益面においては、販売価格改善及び在庫評価差等の増益要因が諸コスト上昇及び販売数量減等の減益要因を上回ったことにより、営業利益は666百万円と前年同期に比べ39百万円(6.3%)の増益、経常利益は939百万円と前年同期に比べ22百万円(2.5%)の増益となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に比べ解体撤去引当金繰入額及び固定資産除却損等の特別損失が増加したことにより、468百万円と前年同期に比べ24百万円(△4.9%)の減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

普通線材製品

普通線材を素材とした各種めっき鉄線、また、めっき鉄線を素線とした加工製品からなり、公共土木向けのかご、落石防護網及び民間向けを含めた各種フェンス等に使用されております。

売上高は、主副原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格改善の一方で、販売数量が減少したことにより、4,422百万円と前年同期に比べ83百万円(△1.9%)の減収となりました。

営業利益は、販価改善及び在庫評価差等の増益要因が、諸コスト上昇及び販売数量減等の減益要因を上回ったことにより、116百万円と前年同期に比べ55百万円(91.8%)の増益となりました。

特殊線材製品

特殊線材を素材とした硬鋼線、各種めっき鋼線、鋼平線、鋼より線、鋼索等からなり、自動車向け、電力通信向け及び公共土木向け等、多岐に渡って使用されております。

売上高は、主副原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格改善の一方で、販売数量が減少したことにより、8,400百万円と前年同期に比べ3百万円(△0.0%)の減収となりました。

営業利益は、諸コスト上昇及び販売数量減等の減益要因が、販価改善等の増益要因を上回ったことにより、166百万円と前年同期に比べ4百万円(△2.6%)の減益となりました。

鋳螺線材製品

鋳螺線材を素材としたトルシア形高力ボルト、六角高力ボルト及びGNボルト等からなり、主として建築向けに使用されております。

売上高は、主原料価格及び物流・エネルギーコスト等の上昇に対する販売価格の改善並びに販売数量の増加により、3,728百万円と前年同期に比べ182百万円(5.2%)の増収となりました。

営業利益は、諸コスト上昇等の減益要因が、販価改善、販売数量増及び在庫評価差等の増益要因を上回ったことにより、328百万円と前年同期に比べ9百万円(△2.9%)の減益となりました。

不動産賃貸

主に賃貸用不動産を所有・経営しております。

売上高は82百万円と前年同期に比べほぼ横這いとなりました。

営業利益は50百万円と前年同期に比べ1百万円(3.0%)の増益となりました。

その他

めっき受託加工等の売上高は292百万円と前年同期に比べ2百万円(△0.8%)の減収となりました。

営業利益は、4百万円と前年同期に比べ2百万円(△37.7%)の減益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は73,258百万円となり、前連結会計年度末に比べ346百万円の減少となりました。流動資産は36,808百万円となり、前連結会計年度末に比べ514百万円の増加となりました。これは主に棚卸資産の増加によるものです。固定資産は36,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ860百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の減少によるものです。

当中間連結会計期間末の負債合計は18,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円の増加となりました。流動負債は12,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ789百万円の増加となりました。これは主に電子記録債務の増加によるものです。固定負債は6,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ674百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

当中間連結会計期間末の純資産合計は54,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ462百万円の減少となりました。この結果、自己資本比率は70.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。なお、実際の業績は、需要業界の活動水準や主副原料及びエネルギー等の価格動向などの様々な要因により、予想数値と異なる場合がありますことをご承知置きください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,455,846	12,497,326
受取手形及び売掛金	6,647,284	6,178,616
電子記録債権	5,681,354	5,653,003
有価証券	202,306	404,376
製品	6,646,109	7,020,142
仕掛品	1,308,033	1,422,605
原材料及び貯蔵品	3,093,096	3,353,360
その他	266,518	284,973
貸倒引当金	△5,609	△5,429
流動資産合計	36,294,939	36,808,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,471,206	3,485,034
機械装置及び運搬具(純額)	3,035,654	3,263,764
土地	9,003,482	9,003,482
建設仮勘定	525,498	421,465
その他(純額)	204,513	213,334
有形固定資産合計	16,240,355	16,387,080
無形固定資産		
ソフトウェア	41,738	79,325
ソフトウェア仮勘定	43,480	155,580
その他	2,971	2,954
無形固定資産合計	88,190	237,860
投資その他の資産		
投資有価証券	19,159,944	17,973,948
長期貸付金	8,989	8,845
退職給付に係る資産	422,585	433,270
繰延税金資産	1,036	1,036
その他	1,417,988	1,436,530
貸倒引当金	△28,830	△28,830
投資その他の資産合計	20,981,715	19,824,800
固定資産合計	37,310,261	36,449,742
資産合計	73,605,200	73,258,718

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,151,396	2,715,241
電子記録債務	3,634,920	5,603,648
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,280,000	980,000
未払金	931,898	796,672
未払法人税等	422,669	342,250
賞与引当金	339,008	338,416
解体撤去引当金	—	75,300
災害損失引当金	3,470	—
その他	749,784	451,616
流動負債合計	11,263,148	12,053,146
固定負債		
長期借入金	2,110,000	1,630,000
繰延税金負債	2,520,701	2,238,926
役員退職慰労引当金	181,481	189,148
退職給付に係る負債	2,129,495	2,209,553
その他	62,545	62,169
固定負債合計	7,004,223	6,329,797
負債合計	18,267,372	18,382,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,720,068	10,720,068
資本剰余金	10,888,051	10,888,051
利益剰余金	25,523,331	25,705,408
自己株式	△1,232,269	△1,342,155
株主資本合計	45,899,181	45,971,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,492,889	4,869,770
為替換算調整勘定	259,099	315,068
退職給付に係る調整累計額	140,205	128,734
その他の包括利益累計額合計	5,892,194	5,313,573
非支配株主持分	3,546,452	3,590,828
純資産合計	55,337,828	54,875,774
負債純資産合計	73,605,200	73,258,718

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	16,807,712	16,891,020
売上原価	13,944,685	13,878,012
売上総利益	2,863,026	3,013,007
販売費及び一般管理費	2,235,736	2,346,323
営業利益	627,290	666,684
営業外収益		
受取利息	71,747	71,600
受取配当金	179,970	195,164
有価証券売却益	—	26,013
有価証券償還益	—	24,000
太陽光売電収入	35,137	31,134
為替差益	52,153	—
雑収入	34,750	26,101
営業外収益合計	373,760	374,014
営業外費用		
支払利息	11,677	7,867
持分法による投資損失	57,517	59,604
太陽光売電原価	10,976	11,148
為替差損	—	20,429
雑支出	4,358	2,308
営業外費用合計	84,530	101,357
経常利益	916,519	939,341
特別利益		
固定資産売却益	29	520
投資有価証券売却益	8,470	—
特別利益合計	8,499	520
特別損失		
固定資産除却損	11,150	67,509
災害による損失	18,019	—
解体撤去引当金繰入額	—	75,300
特別損失合計	29,169	142,809
税金等調整前中間純利益	895,850	797,052
法人税等	302,439	276,851
中間純利益	593,410	520,201
非支配株主に帰属する中間純利益	100,687	51,695
親会社株主に帰属する中間純利益	492,722	468,505

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	593,410	520,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,452,285	△624,526
為替換算調整勘定	19,867	81,643
退職給付に係る調整額	△2,012	△12,168
持分法適用会社に対する持分相当額	4,990	△1,434
その他の包括利益合計	1,475,130	△556,485
中間包括利益	2,068,541	△36,283
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,950,666	△110,115
非支配株主に係る中間包括利益	117,875	73,831

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋳螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,496,279	8,389,281	3,545,612	82,180	16,513,354	294,358	16,807,712	—	16,807,712
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10,362	15,431	—	—	25,793	—	25,793	△25,793	—
計	4,506,641	8,404,712	3,545,612	82,180	16,539,147	294,358	16,833,505	△25,793	16,807,712
セグメント利益	60,603	171,289	338,208	49,129	619,229	6,824	626,054	1,235	627,290

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損益 計算書計上額 (注) 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋳螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,410,472	8,377,885	3,728,432	82,217	16,599,006	292,013	16,891,020	—	16,891,020
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,396	22,905	—	—	35,301	—	35,301	△35,301	—
計	4,422,868	8,400,790	3,728,432	82,217	16,634,308	292,013	16,926,322	△35,301	16,891,020
セグメント利益	116,228	166,847	328,391	50,598	662,065	4,249	666,315	369	666,684

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。